



ドリーム体験!ほんもの講座 劇団ひまわりの演劇を楽しみました

11月7日、美郷町公民館で「ドリーム体験!ほんもの講座」が開催され、町内小学校の1~2年生が劇団ひまわりによる演劇を鑑賞しました。この講座は、演劇鑑賞を通じて児童の感性を豊かにすることなどを目的に、ふるさと美郷応援寄付(ふるさと納税)を活用して毎年開催しています。

講座では童謡「おおきなかぶ」を上演。劇団員がかぶを引き抜く演技に合わせて、児童全員で「うんとこしょ、どっこいしょ」と会場いっぱい響き渡るほどの元気な声援を送っていました。また、上演後には劇団員がパントマイムの仕方を教える演劇ワークショップが行われました。児童たちは、見よう見まねで空間に見えない壁を表現するなど、劇団員が持つ表現方法を体験しました。

わら草履作りに熱心に取り組みました わら細工体験講習会

11月16日と21日の2日間、美郷町中央ふれあい館でわら細工体験講習会が開催されました。この講習会は、失われつつある伝統文化を次の世代へつなげていくことを目的に行われています。当日は、10名の参加者が講師の田口サダエさん(北雀柳)と中野武雄さん(大坂)の指導を受けながら、わら草履作りに取り組みました。

講習会に参加した皆さんからは「もっと勉強しているいろいろ作ってみたい」などの声が聞かれ、ほとんどの参加者が自宅でも作ってみたいとわらを持ち帰るなど、参加者の熱意が伝わってきました。



助け合い支え合う社会を目指して いきいき大学で男女共同参画出前講座

11月22日、生涯学習講座「いきいき大学」の受講生等を対象とした男女共同参画出前講座が美郷町中央ふれあい館で行われました。第1部では、ヨーガスクールの講師を務める高橋広子さんが、ヨーガを用いた健康法について講演。続く第2部では、美郷町男女共同参画住民懇話会による朗読劇「広がるよ あなたが始めた 参画社会」が上演されました。

委員の皆さんは、過疎化が進むまちの後継者問題に取り組む人々の姿を、それぞれの役に扮して表現。性別による固定観念の垣根を取り払い、協力し合う社会の大切さを訴えました。秋田弁を交えた委員の皆さんの熱演ぶりに、集まった参加者たちからは笑いが溢れていました。

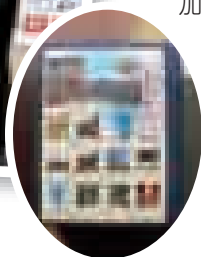


松田町長にフレーム切手を
手渡す石塚東北支社長(写真左)

寄贈ありがとうございます オリジナルフレーム切手贈呈式

このたび、日本郵便株式会社東北支社からオリジナルフレーム切手を贈呈していただきました。フレーム切手は、美郷町が誕生10年目を迎えることに加え、美郷町イメージキャラクター「美郷のミズモ」の誕生をPRすることを目的に同社が作成。郵便局や道の駅雁の里せんなんなどで取り扱われています。

12月2日には、石塚信吉東北支社長らが役場庁舎を訪れ、松田町長にフレーム切手を手渡しました。



がん検診は受けていますか? がん医療講演会

12月6日、美郷町公民館でがん医療講演会が開催されました。がんに対する理解を深めてもらおうと、秋田県肺がんネットワーク「あけびの会」(藤井婦美子代表)が主催しています。

講演会では、町職員が町のがん検診受診状況等について説明した後、昭和大学横浜市北部病院消化器センター長の工藤進栄さんが「大腸がん これだけ知れば怖くない」と題して講演。肉食中心の偏った食事や運動不足、喫煙などのがんに対する罹患リスクを紹介し、「早期発見・早期治療で大腸がんはほぼ100%完治する。定期健診の受診や生活習慣の改善に取り組むことが大切」と、集まった参加者らにアドバイスを送りました。



税の大切さを学ぶ 千畑小学校で租税教室

12月10日、千畑小学校で6年生を対象に租税教室が開催されました。この取り組みは、次代を担う子どもたちに租税の役割や納税の権利・義務を正しく理解してもらおうと、大曲地区租税教育推進協議会が主催しています。

租税教室では町税務課職員が講師を務め、税金の種類や役割をクイズ形式で出題。「日本の税金は消費税や所得税のほか、温泉に入るときの入湯税やゴルフ場利用税など、全部で50種類以上ある」と説明すると、児童たちからは驚きの声が上がっていました。また、学校統合に伴い誕生した千畑小学校の改修工事費用が約2億円であることから、1億円のレプリカが二束用意され、児童一人ひとりが一束約10kgの重さを体験しました。授業の最後には、児童から「教科書や学校の机などにも税金が使われていることを知った。これからも大切にしたい」という感想が発表されました。



握手を交わす
渡部大仙警察署長(写真左)と松田町長

災害時に町施設を警察機能の拠点に 町と大仙警察署が災害協定締結

12月12日、役場庁舎で大仙警察署との「災害時等における相互協力に関する協定」の締結式が行われました。協定では、大仙市内で地震や風水害などの災害が発生し、同署での業務遂行が困難になった場合、美郷町中央行政センターを臨時的活動拠点として使用することが規定されています。

締結式には、松田町長と同署の渡部信雄署長が出席。渡部署長が「災害は場所によって被害状況が異なる。万が一の際には、即座に無線機能などを整え、警察機能を失わないようにしたい」と力を込めると、松田町長は「警察のバックアップ機能として町施設を活用してもらうことは、町としても治安の維持や安心感につながる」と応えました。

あきたふるさと手作りCM大賞2013で AAB賞(第3位)を受賞

美郷中学生が企画制作した CMが年間100回放送されます

全県25市町村が参加した秋田朝日放送主催の「あきたふるさと手作りCM大賞2013」において、本町の作品が第3位にあたるAAB賞を受賞しました。

今回の作品は、企画段階から出演・撮影までを美郷中学校生徒会が中心となり制作したもので、「美郷町を知ってもらおう、来てもらおう」をテーマに、町の財産である清水の素晴らしさを存分にPRできる内容となっています。

12月16日には秋田朝日放送の岡部和美常務取締役ら2名が役場庁舎を訪れ、制作に携わった美郷中学生たちが見守る中、松田町長にトロフィーを手渡しました。



▲11月24日に秋田市で行われたスタジオ収録

CMは、AAB賞の副賞として秋田朝日放送で年間100回放送されます。1月から3月のCM放送予定時間は次のとおりですので、皆さまぜひご覧ください。

■ 1月から3月までのCM放送予定時間

放送時刻	放送日		
	1月	2月	3月
4:52ごろ		2/7	3/10、3/13、3/27
5:22ごろ	1/13、1/14、1/15		3/11、3/14、3/26
9:55ごろ		2/18、2/19、2/28	3/21
10:30ごろ	1/8	2/5、2/17、2/20	3/25
10:35ごろ	1/31	2/3、2/6	3/31
11:30ごろ	1/9、1/28		
15:25ごろ	1/24		
15:55ごろ	1/23、1/27		

※秋田朝日放送のホームページからもご確認できます。